

いじめ問題に積極的に取り組む 4 市長が集結

サミットには、学校・教育委員会だけでなく市長部局として責任を持ち、いじめ問題に向き合っている4市長が集結。それぞれ独自の視点で意見交換・討論が行われました。

北海道 旭川市

全国的に注目されたいじめ問題について、今まさに解決に取り組んでおり、市長部局にいじめ対策専門部署を設置予定。

旭川市長
今津寛介



可児市長
富田成輝

岐阜県 可児市

全国に先駆けて、子どものいじめ防止に関する条例を制定し、市長部局にいじめ防止専門委員会を設けていじめ問題に対応。



寝屋川市長
広瀬慶輔

大阪府 寝屋川市

いじめゼロへの新アプローチとして全国的に注目を浴びている、独自のいじめ対策(寝屋川モデル)を展開。



八尾市長
大松桂右

大阪府 八尾市

重大ないじめ問題が発生し、その解決に取り組む中で、市長の直轄組織として「いじめから子どもを守る課」を設置。



各市の取り組みの詳細は11ページをご覧ください。

本気でいじめを抑え込む 「いじめ対策サミット」 を開催しました!

12月3日に、いじめ問題に積極的に取り組む4市長を始め、教育関係者、学識経験者、いじめ被害者の家族が一堂に会し、いじめ問題について考える「いじめ対策サミット」を開催しました。

令和3年度の文部科学省の調査において、全国のいじめの認知件数が過去最多の61万件を超えた今、繰り返されるいじめ問題の解決に向けて、新たなアプローチの必要性が問われています。

「いじめ対策サミット」では、本気でいじめを抑え込むため、様々な立場の視点から、いじめ問題を考察し、いじめの解決に向けたアプローチ方法などについてパネルディスカッション形式による討論が行われました。当日の様子を紹介します。

問 監察課 (☎812・2246)



いじめ対策サミットの一部を動画配信しています



いじめ問題に積極的に取り組む 市長によるパネルディスカッション

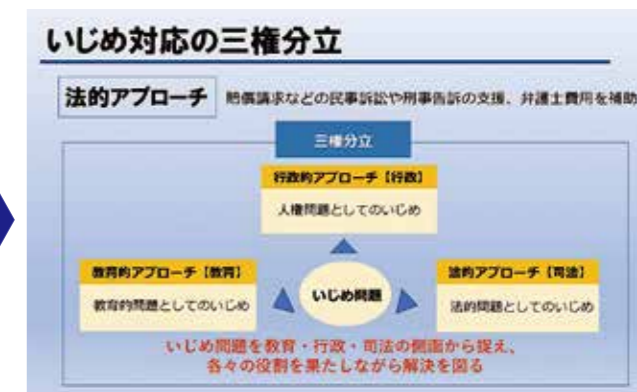
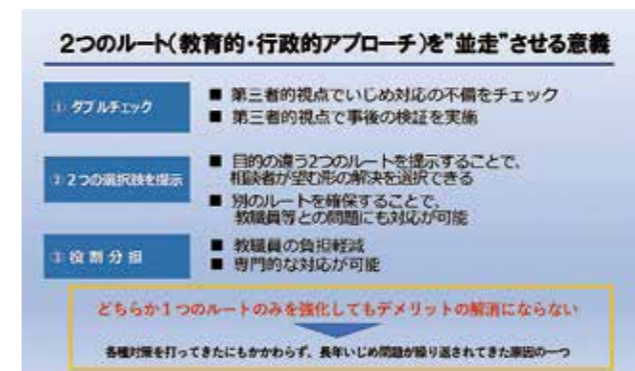
「新たないじめゼロへのアプローチの必要性」をテーマに、いじめ問題に積極的に取り組む、旭川市長・可児市長・八尾市長・寝屋川市長の4市長によるパネルディスカッションが行われ、各市の本気度が伝わる、白熱した議論が繰り広げられました。



取り組み発表「寝屋川モデル」 いじめゼロに向けた新アプローチ

メディアでも大きく取り扱われた、市長部局「監察課」によるいじめ対応。多くの人にその意義を伝えることが、全国の自治体からいじめをなくすきっかけになるとの思いから、新たな3段階のアプローチ(寝屋川モデル)を分かりやすく、解説しました。いじめゼロへの取り組みが、ここ寝屋川市から全国へと広がる第一歩にしたいと考えています。

教育的アプローチ (学校・教育委員会による通常のいじめ対応)	行政的アプローチ (市長部局「監察課」によるいじめ対応)
教育的な指導による 「人間関係の再構築」	いじめを人権問題として捉え 「いじめの即時停止」
いじめられている側・いじめている側 → 教職員にとって共に大切な児童・生徒	被害児童・生徒、 加害児童・生徒の概念を用いる
ほとんどのいじめ事案(99%)が解決	メリット ・短期間で判断・解決 ・児童と教職員の問題にも対応 ・独自データに基づく「真正動向」の実態
「人間関係の再構築」に長期間を要する ・児童と教職員の問題への対応が困難	デメリット 「人間関係の再構築」が困難
国が定めるいじめ防止対策推進法や 基本方針に基づき対応 (法に基づくいじめの認定)	対応 独自に収集した1次データに基づき対応 (独自の基準によるいじめの認定)



いじめの被害者などによる意見交流

「いじめ問題の実態と解決に向けたアプローチ」をテーマに、4市長といじめ被害者の家族が意見交流を行いました。

いじめ被害者の家族から生の声を聞くだけでなく、各市のいじめ対策に対する評価の声もありました。

最後は、コーディネーターを務めたNPO法人プロテクトチルドレン代表の森田志歩さんの「4市長の話聞かせていただき、とても心強かった。いじめについて、学校や教育委員会だけに任せるのではなく、市長部局が責任を持って関わることの必要性を改めて認識しました」との言葉で締めくくられました。



テレビをはじめ、各種 メディアでおなじみの

「尾木ママ」こと、教育評論家・法政大学名誉教授の尾木直樹さんを招き、「学校の現状と子どもの人権を考える」をテーマに基調講演をしてもらいました。

時にユーモアを交えて難しい内容を分かりやすく伝える語り口に、会場全体が引き込まれていました。

教育評論家
法政大学名誉教授
尾木 直樹さん



基調講演 学校の現状と子どもの人権を考える

4市DATA・いじめ対策

大阪府

八尾市

人口 (令和4年10月1日現在) 262,371人

児童・生徒数 (令和4年5月1日現在) 小学生12,610人 中学生6,206人

あらし

- 令和2年4月 市長直轄組織「いじめから子どもを守る課」を設置
10月 「八尾市いじめから子どもを守る条例」を制定
- 令和4年10月 子ども総合支援センター「ほっぷ」を開設

主な取り組み

- 市長直轄組織に弁護士資格を持つ職員や臨床心理士、教育職OBやケースワーカーの経験のある職員を配置
- 市立学校の教職員を対象に、弁護士によるいじめ予防・対応研修を実施
- 児童・生徒が気軽に相談できる、相談方法の一つとして「やおこ手紙相談」を実施
- 教育委員会で各学期末に実施している「いじめ問題に関する実態調査」で認知されたいじめ事案について、個人情報保護した上で、全件、共有している

北海道

旭川市

人口 (令和4年10月1日現在) 325,039人

児童・生徒数 (令和4年5月1日現在) 小学生14,280人 中学生7,625人

あらし

- 令和3年3月 前月から行方不明となっていた市立中学校に在籍する女子生徒が遺体で発見される事案が発生
- 令和4年9月 いじめの重大事態に係る調査報告書の公表

主な取り組み

- (仮称)いじめ防止条例を制定し、地域社会全体でいじめ防止対策の推進を図る
- 市長部局にいじめ対策専門部署を新設し、弁護士やカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどの専門家を配置するほか各学校にいじめ対応を専属に担う「いじめ対策推進リーダー」を市独自に追加配置(令和5年4月から)
- いじめ(疑いを含む)の全案件を市教委と共有した上で学校現場に専門家を派遣し、いじめの認知判断や事案対応、被害者支援までを市長部局と市教委が一体となって実施する「旭川モデル」の構築を目指す

大阪府

寝屋川市

人口 (令和4年10月1日現在) 227,957人

児童・生徒数 (令和4年5月1日現在) 小学生10,323人 中学生5,254人

あらし

- 令和元年10月 市長部局にいじめ対策部署「監察課」を設置
- 令和2年1月 「寝屋川市子どもたちをいじめから守るための条例」を施行

主な取り組み

- いじめゼロに向けた新たな3段階のアプローチを導入



- 「攻めの情報収集」として全児童・生徒に「いじめ通報促進チラシ」を配布
- 弁護士費用や転校費用などを支援する補助金制度を導入

岐阜県

可児市

人口 (令和4年10月1日現在) 100,641人

児童・生徒数 (令和4年10月1日現在) 小学生5,457人 中学生2,600人

あらし

- 平成24年4月 教育委員会事務局から文化・スポーツ振興、生涯学習、図書館の業務を市長部局に移管
- 5月 いじめ防止専門委員4名を委嘱
- 10月 「可児市子どものいじめの防止に関する条例」を施行
市長部局に「いじめ防止専門委員会」を設置
「教育委員会と連携していじめ防止事業を実施」
- 平成26年3月 可児市いじめ防止基本方針を策定
- 平成30年5月 JR可児駅前に総合的な子育て支援の拠点施設
可児市子育て健康プラザ「マーノ」を開館

主な取り組み

- 専門委員会委員5人の専門性や第三者性を生かした取り組み

学校心理士、臨床心理士(2)、弁護士、元児童相談所長	
相談員(事務局)への助言 ● 随時(電話、メール)	学校関係者への助言 ● 定例(隔月に委員会会議) ● 学校訪問
- 共有ケースによる予防的取り組み、被害者・加害者側への支援
- 尾木直樹特別顧問による学校訪問・委員との懇談会・広報・啓発活動

4市長による「共同宣言」

学校・教育委員会だけでなく、市長部局として子どもたちの命と尊厳を守る責務を負う、その強い覚悟と決意を表明することで、全国のいじめ問題の解決に一石を投じます。



八尾市長



寝屋川市長

「いじめ対策サミット」共同宣言

我々は、いじめ問題に対し、人間関係の再構築を目的とした、教育的な指導の有用性を尊重しつつ、一方で、市民の生活、生命を守る立場の市長として、いじめは子どもたちの心身の成長、生命に影響を与える重大な人権問題であると捉え、いじめ行為を終息させ、子どもたちが安心して学ぶことができる教育環境の実現に力を尽くし、その責務を負うことを決意し、ここに宣言する。

令和4年12月3日

旭川市長 今津寛介
可児市長 富田武輝
八尾市長 大松隆志
寝屋川市長 衣笠彦輔



旭川市長



可児市長



ふるさと納税で「いじめ対策」を応援! ～寝屋川発 全国いじめゼロエンジェル制度～

「寝屋川発 全国いじめゼロエンジェル制度」とは、ふるさと納税を通じて本市のいじめ対策を応援してもらう施策共感型ふるさと納税の取り組みです。

ベンチャー企業の将来性に投資する“エンジェル投資”になぞらえ、「社会的課題の解決に投資する」という趣旨で命名しており、記念品はありませんが、特典として「デジタル会員証」と市の取り組みなどを集約した「エンジェルメール(情報メール)」を用意しています。

寝屋川市だけではなく“全国のいじめ問題”という社会的課題の解決に少しでも貢献したいと考えており、いじめゼロの世の中に向け、支援の輪が広がっていくことを願っています。



※制度の詳細・申込は市ホームページ「企画四課」(右のQRコード)を見てください。

支援で集まったお金の主な使い道

- ▶ 「いじめ対策サミット」など、全国にも効果をもたらすいじめ対策事業
- ▶ 啓発活動(情報発信)など「いじめ問題という社会的課題の解決」に役立つ取り組み

生だけが対応するのではなく、寝屋川市独自の行政的アプローチを導入している話や印象深かったです。ほかにも私にはまだ難しい話がたくさんありましたが、各市長のいじめに對する本気度や、自分の市のいじめ問題を減らそうという熱い思いを感じ

ました。12月3日、市立市民会館で行われた「いじめ対策サミット」取材しました。私がこのサミットを取材しようと思ったのは、ほかの自治体で起きたいじめ事件についてのテレビ番組を見たことがきっかけです。胸が痛くなる内容でしたが、その中で寝屋川市のいじめ対策が紹介されていて、関心を持ちました。

今回のいじめ対策サミットでは、寝屋川市・旭川市・可児市・八尾市の4市長がディスカッションで「いじめ」に對する考えを来場者に伝えていました。各市長が話した内容やディスカッションを熱心に聞いていた人が多かったです。シルバー世代も多く参加して、子育て世代以外の関心の高さもうかがえました。



いじめ対策サミット



みずのつきの
水野月乃さん

学生自身が市の窓口などを直接訪問し、その事業について感じたことや思ったことをレポートしています。今回は、香里ヌヴェール学院高等学校2年生の水野月乃さん=写真=による「いじめ対策サミット」です。

現在、寝屋川市ではいじめを受けている児童・生徒だけでなく、「いじめをしている児童・生徒」の聞き取りも行っています。被害者側だけではなく加害者側にも聞くことは素早いいじめ解決につながると思いました。いじめ対策サミットは、動画をアーカイブ配信しているとのことですので、いろいろな立場の人にぜひ見ていただきたいです。今後も、子どもたちの小さなSOSを見逃さず対応し、みんなが安心して楽しく学校に通える、いじめゼロの街になることを期待しています。



▲広瀬市長による取組発表の様子

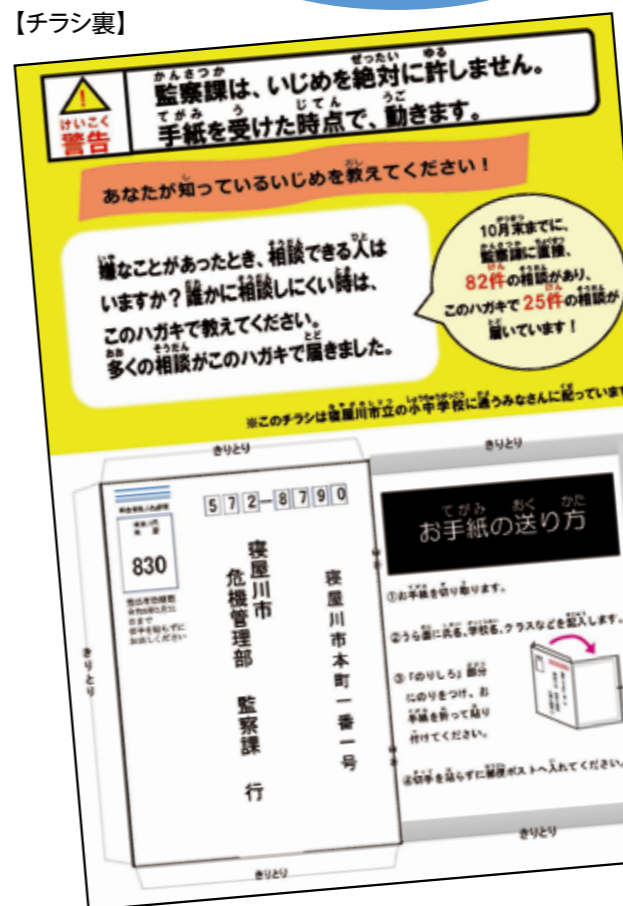
寝屋川市の児童・生徒の皆さんへ

市は、皆さんが安心して学べる“教育環境”を整えるため、徹底的に取り組んでいます。あなたが、あなたの友だちが「いじめられている」と感じたら、どんな情報でもよいので、提供してください。必ず、監察課が動きます。

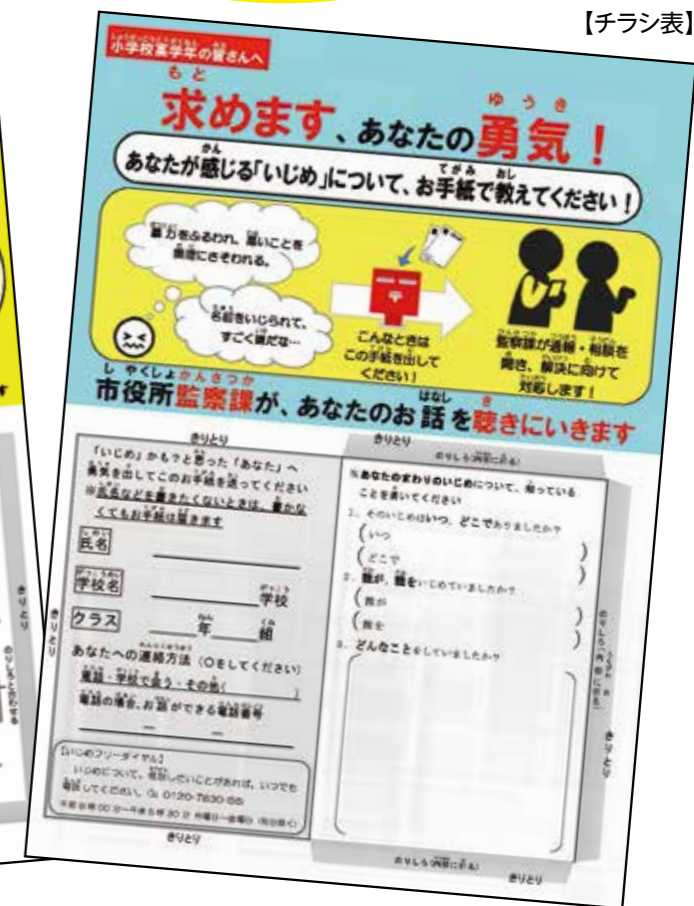
匿名(名前を書かなくても)OK!

切手がなくても送れるよ!

【チラシ裏】



【チラシ表】



月に1度、学校で配布している「いじめ通報促進チラシ」です。本人だけでなく、保護者やいじめを見た友だちからも通報を受け付けています。

監察課の職員の声



自分自身が嫌な気持ちになったら、それはいじめです。監察課が必ず解決します。どんなことでも相談してください。



保護者の皆さんも気になることがあればいつでも相談してください

いじめフリーダイヤル

☎0120・7830・66

月～金曜日の午前9時～午後5時30分
(祝日・12月29日～1月3日を除く)

メール: kansatsu@city.neyagawa.osaka.jp